

改修済み中古マンションを購入しての部分リフォーム。不整形で狭さを感じる洋室とLDを、アールの外壁ラインを活かした本棚と天井で緩やかにつなげ、そこに夫婦それぞれのワークスペースも潜ませて、子育て家族にやさしいのびやかな空間に変身させている。

リフォーム前後の写真



1 円卓を取り囲む円環状の棚の先に鉄道が駆ける。マンション外形に用いられたr=1200の曲線を内部に反転して引込み、円環形状の棚で一体空間を創った。

▼ Before



A リビング 開口が多く、明るいが、歪な平面の既存建物
B 洋室 使いこなしが難しいクランクやデッドスペース
C LDK 歪な梁型
D キッチン 手際良く整えられた個室
E 寝室



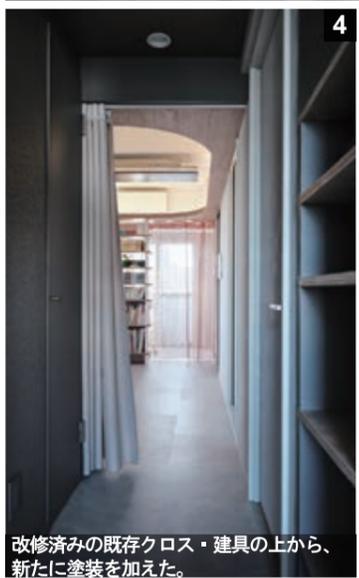
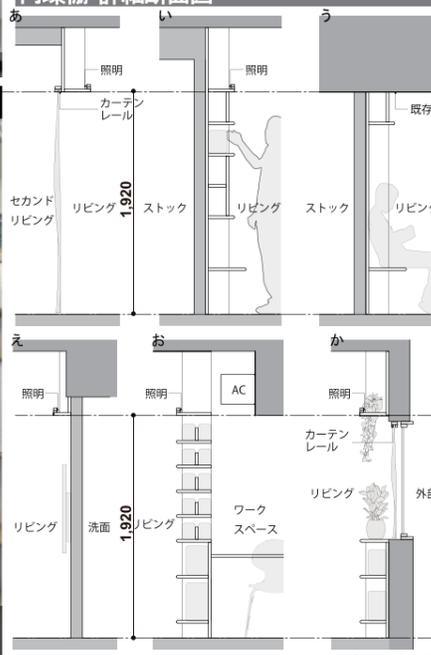
2 使いづらい既存の歪な平面形状を活かし、本棚の背後にパーソナルスペースを配置。



3 夫婦それぞれのワークスペースを計画。



円環棚 詳細断面図



4 改修済みの既存クロス・建具の上から、新たに塗装を加えた。



5 本棚・窓・梁・照明・植栽といった既存も含めた様々なエレメントが配置された円環。



6 既存の扉を取り払い、カーテンによる緩やかな間仕切りとした。

撮影:中村 晃

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想・満足度 / 住宅の価値を向上させた内容など

【リフォームの動機】中古マンションの購入をきっかけに、夫婦の蔵書をはじめとした、愛着あるモノに囲まれた暮らしの場をつくりたいと考えた。

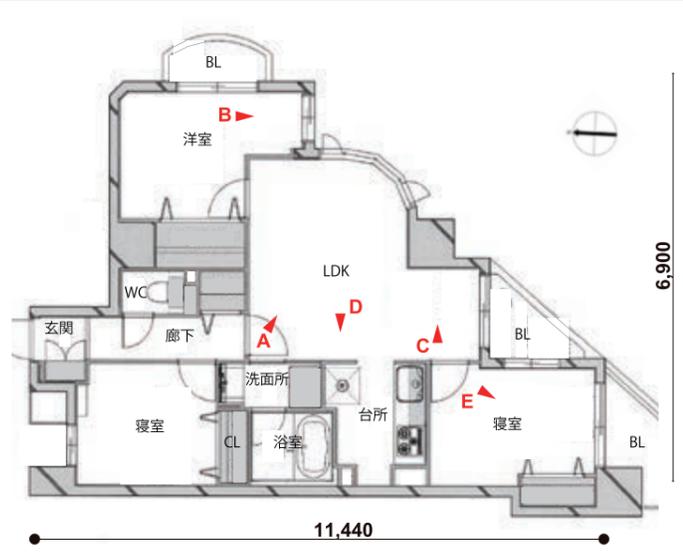
【設計の工夫】既存は既に不動産会社の規格化仕様で手際よく整えられていたが、独特な平面のポテンシャルを活かしてなかった。本計画では既存改修を最大限生かし、最小操作で空間全体に影響を及ぼす部分改修を模索した。既存建物の外形である特徴的なRの線を内部に引込み、リビングを取り囲む円環棚を計画し、中心を作った。棚に動線、建具、カーテン、ベンチを組込み、既存の小部屋やワークスペースが棚に絡みつく関係を持たせた。また、仕上も既存を最大限に生かすため、既存仕上げ面のクロスやフロアタイルの凹凸や平滑面を下地と捉え、新築では起こり得ない様相を受け入れた。例えば、既存クロス面の上に塗装を加えた部分と、新設ボード面の上に塗装を加えた部分が同一面にある。新旧を跨ぐように左官塗装を施し、ムラとして繋げ、既存の間取りを浮かび上がらせた。現在、更新期のマンション一室の大半は、不動産会社によって淡々と改修再販される。本計画は、自分達の空間を勝ち取る切実な欲求から派生した、時間的/空間的な都市の隙間を縫う行為であり、部分改修の新たな手法を示唆する計画である。

【施主の感想・満足度】効果的な改修手法により、骨太で象徴的な住空間を手に入れることができたと感じている。年月を重ね、モノと思い出が蓄積していくのを楽しみにしている。

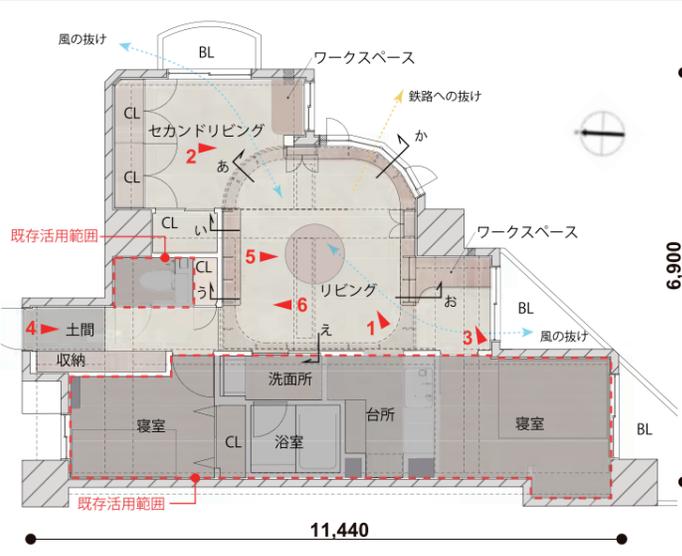
性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
間仕切り撤去を行い、連続空間形成によって気流性状と自然光環境の改善をした。	環境配慮とコストの観点から、小部屋とキッチン、風呂、洗面、水回り等の主要設備は、改修済みの既存をそのまま利用し、着手する部分としない部分を明確に分割した。	リフォーム前 リフォーム後

データ	
所在地	東京都墨田区
新築竣工年	1999年
築後年数	25年
施工期間	90日間
該当工事床面積	30㎡ / 総工事床面積 30㎡
該当部分工事費	850万円 / 総工事費 850万円
居住者構成	65歳以上: 0人 / 40~64歳: 0人 / 15~39歳: 2人 / 14歳以下: 1人 / ペット 匹

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: ■居室 / □台所 / □浴室 / □便所 / □洗面所 / ■廊下 / □階段 / ■玄関 / □クローゼット / □マンション共用部分 / □その他